

貧困の中の豊かさ

2014年9月。カンボジアのダチョー村で小学校を建設しました。

アジア最貧国の一つであるカンボジア。

しかしそこで出会ったのは、貧しいのにも関わらずとても幸せそうに過ごす子供たち。

そこには「経済的な豊かさを超える心の豊かさ」がありました。



カンボジアの子供たち。

何がそんなに楽しいのか、
と思うぐらい幸せそうに笑います。
まわりにいる私たちまで
幸せな気分になります。

子供は**遊びの天才**。

言葉は通じなくても遊び飽きる
ことはありません。

今日は肩車で両手を広げ全力で
回転する遊びを発明しました。



2014年9月／カンボジア ルサイ村／多田拓歩



人生で**初めて**。

はじめての運動会。はじめての綱引き。
勝ったら全力で喜び、
負けたら全力で悔しがります。

2014年9月／カンボジア ルサイ村／多田拓歩



2014年9月／カンボジア ダチョー村／多田拓歩

好奇心旺盛な子供たち。

何でも自分でやらないと気がすみません。

学校建設のペンキ塗りにも興味津々。手伝ってくれるのか、と思ったらすぐに飽きて悪戯します。

でも**悪戯**ばかりしていると
捕まります。



2014年9月／カンボジア ダチョー村／多田拓歩



未来の自分。

子供たち一人ひとりが将来の夢を描きました。
それを一枚の大きな紙に貼っています。

2014年9月／カンボジア ダチョー村／多田拓歩

完成したのは夢の木。

先生、パイロット、医者、画家、工場で働く、素敵な家庭を持つ。
大きな木にたくさんの夢が実りました。



2014年9月／カンボジア ダチョー村／多田拓歩

新しい学びの場。

みんな目を輝かせて学ぼうとしています。
この場所から、子供たち一人ひとりの未来がはじまります。



2014年9月／カンボジア ダチョー村／多田拓歩